

令和7年11月25日

武豊町議会議長
石川 よしはる 様

建設経済委員会
委員長 久野 勇

建設経済委員会 行政視察報告書

1. 視 察 年 月 日 令和7年11月10日（月）～11月11日（火）

2. 視察調査項目・視察先 1日目：埼玉県志木市
◎中心市街地活性化基本計画に基づくいろは親水公園整備・管理運営事業の実施までの経緯・現状について
◎親水公園及び市庁舎の現地視察
2日目：埼玉県八潮市
◎新庁舎・新保健センターについて

3. 視 察 参 加 者 建設経済委員会委員：久野勇、甲斐百合子、石川喜次、鈴木絢賀
同行：榊原利幸（都市計画課まちづくり推進室長）
随行：若松幸一（議会事務局長）

4. 調 査 視 察 内 容
1日目：埼玉県志木市

事前質問に対する回答は別表のとおり



2日目：埼玉県八潮市

事前質問に対する回答は別表のとおり



5.各 委 員 所 感（武豊町に活かせること等）



久野勇委員長：

●埼玉県志木市

人口7万6千人、9km²の市で有り、立地的に大きな川が2つ有り、自然豊かな市です。また川の合流地点中州ゾーンに完成したばかりの志木市役所が建てられています。志木駅から市役所までの商店街には空き家店舗が目立ちました。

◎いろは親水公園について：

中州ゾーン、左岸ゾーン、右岸ゾーンに分かれ、それぞれのゾーンに整備された公園があります。川の堤防など氾濫時などを考慮し整備されていました。立地条件を上手く生かした公園です。公園再整備にあたり「公募設置管理制度」「指定管理者制度」を取入れた事は民間の意見が反映され、運営の面でも、サービス向上に繋がり、参考にすべき点と思います。

◎市庁舎について：

建設検討にあたり、H19年に耐震性能不足が判明し、検討委員会が設置されました。検討の中で複合施設にせず、庁舎単独で現地建て替えの選択をされました。その理由として、事業費が膨大となる事や工事期間が長期化するなどの理由が挙げられました。これは武豊町にとっても検討課題の1つと思います。過去の災害の経緯から、水害、地震の対策には非常に気を遣った構造になっています。財源は地方債が9割で一般財源は使用してないとのことです。

●埼玉県八潮市

◎新庁舎・新保健センターについて：

新庁舎（保健センター含む）の周辺には八潮メセナ、中央公園が隣接し歩行者専用道路、園路で繋がっています。現在は、庁舎建設が終っていましたが、周辺の道路、施設、駐車場については、整備途中でした。庁舎内ではLANの無線化やノートPCの採用により、来庁者の提出書類記入の軽減、ペーパーレスの推進、時間の短縮に寄与していることは参考にすべき事です。

自然災害に強い構造で建てられており、水害に備えるために①1階部分の壁をコンクリートにした事、②出入り口に防水板設置構造、③非常用発電機を屋外に設置（地下のタンクに12000lの重油を備蓄で5日分の電気供給可能）、地震に対しては①免震構造、②粘性バンパーを採用していることは、参考にすべき点であると思います。また、環境に配慮した自然エネルギーの活用が随所に見られ、太陽光パネル、蓄電池はもちろんの事、地熱、外気を利用して床暖房や空調に利用しているとのことです。その他、市民の利便性を考慮した市民スペースが多く、いずれも参考になることが多かったと思います。



甲斐百合子副委員長：

●埼玉県志木市

「新庁舎建設について」

河川に挟まれた場所のため、機械設備の上層階への設置、グランドテラスという表玄関前の大広場の高さを過去最大水位より高くし、その下を駐車場にした点は、地の特徴をよく考え設計を検討することが重要だと感じました。

また、各階の南窓側にステップテラスと庇を設けることや吹き抜けと屋上換気窓で空気の流れを作ることとで、環境と空調コストを考えていた点は、本町でも参考にしたいと感じました。

他にも各課の仕切りを無くしたユニバーサルレイアウトは、移動や連絡などがしやすく、レイアウト変更も柔軟に出来るとのことでした。

「いろは親水公園整備について」

公募設置管理制度（PARK-PFI）と指定管理者制度（常駐）により、ベーカリーカフェ（飲食施設）・ウォーターパーク（遊具）・市指定文化財建物の貸館やさまざまなイベントなど、公園のサービスレベルが高く、とても魅力的な公園だと感じました。民間のアイデアや地域の団体との連携で、可能性が広がる公園づくりを本町でも期待したいと思います。

「中心市街地活性化について」

空き店舗の増加など中心市街地の活性に悩み取り組む姿は同じだと思いました。その中でも街づくり会社を中心に全 56 事業を展開されているとのこと。

また「中心市街地新規出店支援センター開設」「街バル開催」「固定資産税軽減制度」「中心市街地リノベーション補助金」「中心市街地新築等事業補助金」「チャレンジショップ 1 号店 2 号店」など、取り組みが具体的で参考になると感じました。

●埼玉県八潮市

「新庁舎建設について」

環境と災害に重きをおいた庁舎で、県初の「ZEB-Ready」取得は、本町では難しい整備だと思いましたが、屋上設置の太陽光パネルが、機械設備のパーテーションを兼ねた縦型であった点、子育て支援課窓口の近くにキッズスペースがあり、その階から保健センターの間にあるサークル広場に出られ、子ども連れに配慮しているつくりとなっていた点など、参考に出来る点も多くありました。

志木市でもそうでしたが、市民スペースが期日前投票所などへの活用なども出来るようになっている点も参考に出来ると感じました。



石川喜次委員：

○埼玉県志木市（人口：約 7.6 万人）

いろは親水公園再整備について

Park-PFI と指定管理者制度を組み合わせた事業手法は、民間の資金やノウハウ取り入れた整備、運営が可能となり、公共負担分の削減とともに、サービスの向上が図られることから、公共交流拠点整備などへ採用の可否を検討し整理する必要性を感じた。

中心市街地活性化について

令和 5 年から、3 つの商店街を中心としたまちの活力向上を図るため、空き家店舗補助金を始め、相談体制の整備など、多くの支援制度やイベントの開催等の取り組みが進められている。まだ空き店舗も点在しており、大きな成果には結びついていない印象を受けたが、起業が促進される街へと変わりつつあるため、今後を注視したい。

新庁舎について

旧庁舎から床面積を約 4 % 減少させた新庁舎の建設の考え方（執務空間のコンパクト化）は、大変参

考となる事例ではあったものの、かなり大きいという印象を受けた。規模については、国土交通省の規定に沿ったとのことであり、その基準自体がこれからのDXへの方向に合わなくなってきていることを踏まえると、本町の庁舎の建設にあたっては、「来訪の不用」を踏まえた規模の検討も必要であると感じた。

市民利用の多い総合窓口や子どもや福祉に関する部署の窓口を1列に配置することで、一目で利用する課が見やすくされている印象を受けたため、本庁舎のレイアウトに取り入れたい。



また、環境対策面では、階段部分を吹き抜けとし、庁舎内の空気循環の効率化を図り、庁舎南側は前面ガラス窓と深いひさしを採用し、夏季、冬季の空調を効率化するための工夫を講じており、大変参考となるが、建設・管理コスト面での検討が必要と感じた。議場は円形で段差のないコンパクトな形状で、議会をより身近に感じてもらう工夫がされている。また、障害者に配慮した設備など、様々な配慮がなされている印象であり、本町の新庁舎の議場にも取り入れたい。

○埼玉県八潮市（人口：約9.4万人）

新庁舎・新保健センターについて

複合化により、子ども関連部署と保健センター、自立支援部署とハローワークとを併設し、市民の利便性の向上につなげている。また、2階に市民スペース（屋外）、キッズスペース、多目的広場などを配置し、職員だけでなく、市民も使用でき、市役所が身近に感じられる工夫がされており大変参考となる。また、環境に配慮した県内初となる「ZEB Ready」の認証の取得は、本町庁舎で採用する選択肢の一つではあるが、施設整備・更新、管理のコスト面もあわせての検討が必要と感じた。本町の庁舎が目指す方向と同じ防災拠点としての耐震化、保健センター併設により庁舎複合、集約化をしている点や、DXなど将来を見据えた構造等は参考としたい。



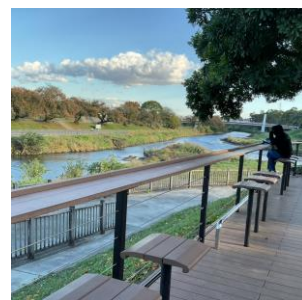
鈴木絢賀委員：

埼玉県志木市および八潮市の新庁舎を視察し、庁舎配置や機能性、空間づくりについて多くの学びを得ました。

●埼玉県志木市

議場を外観の特徴として示す

ことで建築そのものから市政に興味を沸くようなデザインだと感じ、大変印象的でした。庁舎に隣接して川沿いに親水公園が整備されており自然を感じられる心地よい環境でした。さら



に、民間事業者と連携したカフェが収益性をもちながら来庁者と市役所職員の憩いの場となっており、官民連携によるにぎわい創出の可能性を感じました。武豊町でもぜひ取り入れたい仕組みです。



●埼玉県八潮市

太陽光や地中熱の活用、自然換気など環境負荷軽減に配慮した設備が導入され、持続可能な庁舎運営が図られていました。これらの機能により ZEB Ready（エネルギー消費量を従来比 50%以上削減している）認証を取得しています。また、新庁舎内に保健センターを併設することで市民と職員双方にとって利便性の高い動線が確保されており、公共施設の複合化の有効性を実感しました。

両市の取り組みの視察は、機能性と環境性能、市民に開かれた空間づくりの重要性を再認識することができ、今後の武豊町新庁舎整備を検討する上での参考にしたいと考えます。

武豊町議会建設経済委員会 行政視察 事前質問事項
【志木市】 11月10日（月） 13：30～15：00

中心市街地活性化について
担当課：産業観光課

質問事項	回答
① 新規出店支援センターについての運営詳細、実績を教えてください。	<p>創業したい方の新規出店を支援するほか、<u>中心市街地エリアの空き店舗等の情報発信</u>や、<u>物件の発掘</u>、<u>物件の貸し手と借り手のマッチング</u>などを行っている。</p> <p>【実績】 これまで、創業された件数は6件である。 (飲食店、アパレル、WEBデザイナーなど)</p>
② オープンマルシェ事業についての運営詳細、市民の評価を教えてください。	<p>本事業は、中心市街地にあるペDESTリアンデッキなどにおいて仮設店舗を設置し、マルシェを開催する事業であるが、現在、<u>老朽化が進んでいるペDESTリアンデッキの改修</u>を最優先に進めており、事業は改修後に検討しており未実施である。</p>
③ 商工業支援事業とはどのようなものか、実績と併せ教えてください。	<p>中心市街地活性化基本計画に位置付けている「商工業支援事業」とは、商工会や市内の団体等が創意工夫を凝らした魅力的な企画提案型の事業に対する補助金（にぎわいのまちづくり創出事業補助金）のほか、市内の商店会や工業者の活性化を図るため、これらを統括する志木市商工会に対し、補助金（商工業振興事業補助金）を交付する事業である。</p> <p>【実績】 令和6年度：698万4千円</p>

武豊町議会建設経済委員会 行政視察 事前質問事項
 【志木市】 11月10日（月） 13：30～15：00

いろは親水公園再整備について

担当課：都市計画課

質問事項	回答
① 総事業費を教えてください。	<p>整備費：347,600千円（市負担相当額） 【令和3年度 125,000千円、令和4年度212,600千円】 指定管理料：1,150,000千円（19年間の上限額） となっております。</p>
② PFIと指定管理制度を組み合わせたプロポーザル型事業スキームとのことですが、経緯、及び選択理由、また整備及び運営メリットを教えてください。	<p>本市では、いろは親水公園をにぎわいづくりの拠点と位置づけ、祭りやイベントを開催し、にぎわいあふれる場となるような環境整備を実施してきました。また、埼玉県「川の国埼玉はつらつプロジェクト」（H28）に、本市が提案した川を舞台とするにぎわい創出事業が採択され、船着場や流れ橋の橋台整備が実施されました。</p> <p>これらの取組を踏まして、新たな付加価値を与える地域ブランドの創造を目指すとともに、いろは親水公園周辺の川辺で日常的に水と触れ合うことができていたかつての親水空間を再現するため、公園の再整備を実施することとしました。</p> <p>「公募設置管理制度（Park-PFI）」及び「指定管理者制度」を選定することにより、民間の資金やノウハウを取り入れた整備・運営できること。その結果、公園のサービスレベルの向上が図れました。</p>

質問事項	回答
<p>③ 官民連携事業における管理運営の具体的な取り組みと、行政と民間の負担比率、金額を教えてください。また、市の財政負担軽減の具体的な内容を教えてください。</p>	<p>指定管理者（SHIKISAIパートナーズ）が公園管理棟（いろは親水公園パークセンター）に常駐することできめ細かな管理運営を実施しています。</p> <p>市が要求水準書に定めた特定公園施設の整備費用は全額市の負担となっております。</p> <p>本市では、公募対象公園施設の設置及び運営によって発生する収益の一部を先行して整備費用に充当しており、民間資金を中洲ゾーンのカウンターデッキや芝生広場などの施設整備に当てたことにより公共発注で再整備を行うよりも約10%の財政負担の軽減が来ています。</p>
<p>④ 事業者選定において、重視した点は何ですか。</p>	<p>令和2年に策定しました、「民間活力の活用によるいろは親水公園の魅力増進に向けた基本計画」に基づいて、収益施設（飲食提供施設）と一体的に整備することで、民間のアイデアや創意工夫が活かされ、相乗効果が期待できることから、設計から整備・管理運営までの提案が、本市の目指している方向性と合致しているかを重視しました。</p>
<p>⑤ 全体の収容人数と駐車場台数を教えてください。</p>	<p>収容人数は定めておりません。</p> <p>駐車場台数は5台であります。このほか、市役所駐車場と臨時的（ウォーターパーク、イベント時等）に、新河岸川の高水敷を駐車場として開放しております。</p>

質問事項	回答
<p>⑥ 入園料とリニューアルオープン前後の来園者数の推移と、主な増加要因を教えてください。</p>	<p>入場料は、ありません。</p> <p>いろは親水公園は、河川敷にあるオープンな都市公園であったため、リニューアル前は利用者数の把握は行っておりませんでした。リニューアル後は指定管理者による調査からオープン当初の令和4年8月は約55,000人／月、令和4年度は約353,000人／年、令和5年度は約535,000人／年、令和6年度は約529,000人／年となっています。</p> <p>ウォーターパーク（7月中旬～9月中旬期間）や飲食店（Bakery-Café DAISY）の整備、指定管理者制度の活用による公園サービスレベルの向上とによる利用者にとらえています。</p>
<p>⑦ 台風、ゲリラ豪雨や線状降水帯発生時に、立ち入り禁止等周知方法を教えてください。</p>	<p>指定管理者において、巡回による直接の声かけ及び指定管理者のホームページにて周知しております。</p>
<p>⑧ 今までにどのような企画やイベントをされましたか。</p>	<p>① 指定管理者による地域の子育て支援団体等と連携し、子どもが自然とふれあいながらのびのびと遊ぶことが出来る遊び場の提供（プレーパーク）や公園におけるニーズや新たな可能性につなげるため、オープンハウス型の「SHIKISAIぱーくミーティング」などを実施しています。</p> <p>② 市や観光協会による市民祭り・桜フェス、ノルディックウォーキング・ポールウォーキング全国大会、市内防災訓練などが開催されています。</p>

質問事項	回答
⑨ 市と「ラボたま」とはどのような関係ですか。（委託等）	「いろは親水公園民間活力導入可能性調査及び基本計画策定業務委託」（R1）の受注者である大日本コンサルタント(株)の再委託先（市承認）として、「ラボたま」に案件形成支援をしていただきました。

武豊町議会建設経済委員会 行政視察 事前質問事項

【志木市】 11月10日（月） 13：30～15：00

新庁舎について

担当課：総合行政部 行政管理課

質問事項	回答
① 新庁舎について、総工費と補助メニュー、設計と建設事業者の選定について教えてください。	<p>工事に係る総額は、約75億2千万円です。</p> <p>財源は地方債（公共施設等適正管理推進事業債ほか）の割合が最も多く約67億円（約89%）、次に基金（志木市公共施設安心安全化基金）が約8億円（約11%）、補助金（社会資本整備総合交付金）・寄附金が約2千万円の、合計約75億2千万円です。</p> <p>設計者の選定は公募型プロポーザル方式にて行い、建設事業者の選定は総合評価方式一般競争入札にて行いました。</p>
② 計画にあたって、特に重視した点は何ですか。	<p>市の新たなランドマークとしつつ、あらゆる災害に強い庁舎を目指し、地震に対する免震構造の採用や、大雨・水害への備えも十分に考慮した設計として、今後100年使用し続けることを目標としました。なお、大雨・水害への対応としては、適切なフロア高さの設定や設備類の上層階への設置、災害対策本部を、有事に迅速な設置ができるとともに庁内連携が最大限図れる位置に設定することなどが挙げられます。</p>
③ 場所、規模、工事費の決定に至るまでのスケジュール及び根拠を教えてください。	<p>平成19年の耐震診断で耐震化等の必要性を認識したのち、平成20年に庁内組織の庁舎耐震化整備方針検討プロジェクトチームを立上げて以降、建設場所、規模及び工事費の検討を続け、平成28年に前庁舎敷地での建替えを決定、同年作成の建設基本計画において、規模及び工事費の目標を設定しました。</p> <p>詳細は以下のとおりです。</p> <p>(1)建設場所 市域が狭く、余裕のある市有地や民有地を取得する適地や財源もないため、候補地は、前庁舎敷地又は市民会館敷地の2か所に限られました。庁舎として必要となる敷地面積や周辺環境等から、最終的に前庁舎敷地での建替えを決定しました。</p> <p>(2)規模 国（総務省）が示している標準面積の算定基準や、実態としてオフィス環境調査を実施して各種必要面積を算出したほか、他市事例も参考にした結果、基本的な面積規模を約10,000㎡と設定しました。</p> <p>(3)工事費 前述の庁舎耐震化整備方針検討プロジェクトチームでは、前庁舎敷地での建替えに約45億円要すると試算しましたが、平成28年の建設基本計画策定時には概ね70億円と見込みました。</p>

質問事項	回答
④ 建設費における地方債や基金、一般財源等の内訳について教えてください。	<p>工事に係る総額は、約75億2千万円です。</p> <p>財源は地方債（公共施設等適正管理推進事業債ほか）の割合が最も多く約67億円（約89%）、次に基金（志木市公共施設安心安全化基金）が約8億円（約11%）、補助金（社会資本整備総合交付金）・寄附金が約2千万円の、合計約75億2千万円です。なお、一般財源は使用しておりません。</p>
⑤ 市民への説明会の方法、タイミング、開催の実績（回数等）を教えてください。	<p>市民への説明等は次のとおり行いました。</p> <p>(1)庁舎耐震化の市民説明会（平成24年度。公民館等で計6回開催。計36人参加）</p> <p>(2)市民アンケート調査（平成24年度。市内在住20歳以上の無作為3,000人に郵送。回収数1,435人・率47.8%）</p> <p>(3)基本計画策定に係るパブリックコメント（平成28年度。意見3件）</p>
⑥ 議会への意見聴取の方法、タイミング、また意見の反映状況について教えてください。	<p>議会への意見聴取等は次のとおり行いました。</p> <p>(1)志木市庁舎建設基本計画検討委員会、庁舎及び市民会館複合化施設建設基本計画検討委員会に委員として2名参加。</p> <p>(2)基本設計、議場レイアウトについて、議会要望等の聴取。</p> <p>(3)全員協議会又は議員説明会 平成25年（基本計画検討）から令和2年（建設工事発注時点）まで、計18回実施（1年2～3回程度）</p>
⑦ 庁舎規模に関して、人口、職員数、議員数をどのように想定されましたか。	<p>(1)人口 第五次志木市総合振興計画（計画年度：平成28年から平成37年）から、人口の将来展望は、2025（平成37）年の74,400人をピークにその後は、緩やかに減少し、2060（平成72）年の目標人口を71,100人としています。また、市内の年齢分布構成から団塊世代と団塊ジュニアが多いことを特徴として捉えています。</p> <p>(2)職員数 設計時の庁舎勤務職員数は420人程度でしたが、人口減少社会を迎え、職員数も今後大きな増加はしない想定の下、1割程度の余裕を確保しつつ総座席数を約480としました。なお、座席数は机の大きさとレイアウトによりある程度の変動が可能と考えます。</p> <p>(3)議員数 志木市議会の議員定数は、平成12年以前は26人でしたが、平成12年に21人、平成16年に19人、平成20年に15人、平成27年に14人と削減しており、設計時は14人を基本としております。</p>

質問事項	回答
<p>⑧ 新庁舎について良かった点、また、こうしておけば良かったという点を教えてください。</p>	<p>【良かった点】</p> <p>(1)来庁者の待合スペースを明るい南面に取ったことや、市民共用スペースである展望ロビーや市民ホールの存在、ランチ等の飲食可能スペースがあることにより、用務がなくても市役所に立ち寄り方が増えていると感じます。</p> <p>(2)執務室のデスクが整然と並ぶユニバーサルレイアウトを採用しましたが、以前の各課が独立したスペースで執務していたのに比べ、定期異動や組織改正による所属レイアウト変更が柔軟にできるようになりました。また、所属同士の距離が近くなり、声を掛けやすくなったことで、打合せや相談の頻度が増えた印象があります。</p> <p>【こうしておけば良かったと思う点】</p> <p>(1)開庁後は、敷地や建物内の案内誘導サインが不足しており、出入口の場所や駐車場の動線がわかりにくいという指摘が多くありました。業者に発注してサインを追加したり、自作したりして対応しましたが、残念ながら統一性や美観を損なうことにもなりました。</p> <p>(2)今後の人口減少を踏まえ、現在の職員数をピークとしてデスクの数を設定しましたが、正職員数は増えないものの、会計年度任用職員や委託職員は増加しておりデスクが不足する恐れがあります。当面は、業務がより多様化、複雑化することも見込んで人数設定を考える必要がございます。</p>
<p>⑨ 基本計画段階→設計段階→施工段階での変更点があれば、その内容、変更した経緯（理由）等を教えてください。</p>	<p>(1)実施設計中に、工事費の上昇が見込まれたためコストダウンを図りました。具体的には、各種材料・仕上げの見直し、太陽光発電パネルの縮小化、雨水ろ過設備の取止めなどを行いました。</p> <p>(2)工事期間中にも、掘削残土中に想定外の良質でない残土が発現し、対策費用が生じたため、更なるコストダウンを図り、映像音響設備や登退庁システムの縮小化等、再度減額可能な項目を精査しております。</p> <p>(3)加えて、工事期間中の材料価格の上昇に対応するため、工事施工者の申出による単品スライドを適用し、鉄骨材料価格の上昇差額分を変更契約にて措置いたしました。</p>

質問事項	回答
⑩ 市民協働スペース（市民ホール、展望ロビー）の利用状況を教えてください。	<p>市民ホール 普段はテーブル・イスを数セット置き、市民の休憩場所や職員の昼食場所として使用しています。ホール単体で使用する場合は、市業務で実施する確定申告、期日前投票、保育園入園受付など。また、催事形態で行う、市文化祭、健康関連イベントなどで利用しております。なお、市民団体等が単独で使えるよう、令和５年度に一般貸出に係る規定を整備しました。</p> <p>展望ロビー テーブル・イスを数セット置き３０人程度着席できるようにしていますが、市民の方が眺望を楽しんだり、談話する、軽食を取るスペースとして認知されており、常時一定数の利用があります。イベント時には、ピクチャーレールやスポットライトを整備しており、展示スペースとして利用しております。</p>
⑪ 基本計画で示された基本理念の「スマート」、「コンパクト」は設計へどのように反映されましたか。	<p>志木市公共施設マネジメントにおいても、今後、公共施設は複合化、縮小化により、施設の更新、管理コストの低減を図る方針であることを踏まえ、新庁舎では旧庁舎から床面積を約４％減らしたほか、庁舎内の執務空間をコンパクトにした分、来庁者のロビーやホール空間の拡大を図りました。加えて、河川と公園に囲まれた庁舎の周辺環境と調和させるべく、緩やかなカーブを描き、上階になるほどセットバックしていく、すっきりとしたスマートな外観としています。</p>
⑫ 基本計画や設計において、施設の維持管理という観点で検討されたものはありますか。	<p>メンテナンスのしやすさ、維持管理コストの低減のため、以下のような取り組みをしています。</p> <p>(1)空調機器類は複雑な仕組みを避け、なるべくメンテナンスの手間がかからない標準的な機器を中心としております。</p> <p>(2)来庁者のエントランスや待合ロビー等はカーペット敷でなくコンクリート仕上とし、汚れやすい部分のメンテナンスを容易にしております。</p> <p>(3)光熱水費の低減を目的として、各階にテラスを設けて日射の影響を減らしたり、自然風を取り入れた空調・換気がし易い仕組みの採用や、節水型水栓・便器の設置など、様々な対策を行っております。</p>
⑬ 変更設計の主な内容を教えてください。	<p>同種のご質問である⑨をご参照いただきたいと存じます。</p>

(質問事項)

質問	回答
①新庁舎について、総工費と補助メニュー、設計と建設事業者の選定について教えてください。	総工費は88億7,015万6,900円(建築工事:64億7,349万6,700円、電気設備工事:11億2,743万1,800円、機械設備工事:12億6,922万8,400円)であり、補助金は「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(建築物等のZEB化に関する補助金)」を取得しております。設計者については「公募型プロポーザル方式」、施工者については「一般競争入札」により、それぞれ選定しております。
②計画にあたって、特に重視した点は何ですか。	八潮市庁舎建設基本計画に記載した基本理念、及び基本方針を基に施設を設計、建設しており、その中でも、「市民の利便性が高く、共生・協働の場となる庁舎」について、当市の都市計画マスタープランにおいて市庁舎周辺が「都市核」に位置付けられていることから、単なる庁舎の建て替えにならないよう、まちづくりの拠点となる施設とすることを特に重視しております。
③場所、規模、工事費の決定に至るまでのスケジュール及び根拠を教えてください。	別紙説明資料をご参照ください。
④建設費における地方債や基金、一般財源等の内訳について教えてください。	別紙説明資料をご参照ください。
⑤市民への説明会の方法とタイミング、開催の実績(回数等)を教えてください。	別紙説明資料をご参照ください。
⑥議会への意見聴取の方法、タイミング、また意見の反映状況を教えてください。	別紙説明資料をご参照ください。
⑦庁舎規模に関して、人口、職員数、議員数をどのように想定されましたか。	基本構想及び基本計画策定時点での職員数をベースとして、「国土交通省の新営一般庁舎面積算定基準」に基づき、庁舎面積を算定し、そこに議会機能や防災機能、福利厚生、市民交流等に必要な面積を想定し、保健センターの面積を加えて、庁舎規模を決定しました。
⑧新庁舎について良かった点、またこうしておけば良かったという点を教えてください。	市民や職員の利便性、執務環境が格段に向上したことは良かった点として挙げられます。一方で、新庁舎整備に係る当市の組織体制として、庁舎管理を行う部署と異なる部署が計画策定や設計、工事の主体であったことから、調整が難航したり、供用開始からの管理面での課題が生じている部分があるため、庁舎管理部門の職員も整備担当と同じ課に配置していた方がよかったのでは、と考えております。
⑨保健センターの併設は市民の要望でしたか。他の候補はありましたか。また良かった点と課題となる点は何ですか。	基本構想時に実施した市民アンケートにおいて、複合化を最も望まれた施設が保健センターでした。その他には、商業施設や図書館、児童館といった施設が回答に挙げられました。複合化にあたっては、何より市民や職員の利便性が格段に向上したことや、面積を削減できた点が利点として挙げられる一方、管理エリアの区分の明確化や、保健センター事業実施時の駐車場の混雑解消等が課題に挙げられます。

(質問事項)

質問	回答
⑩災害対策として強化された点、ユニバーサルデザインを導入された箇所、市民に開かれた庁舎とするために工夫された点を具体的に教えてください。	<p>【災害対策として強化した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震対策で基礎免震構造を採用した点に加え、水害対策として1階を鉄筋コンクリート造した上で、出入口に止水板を設置可能な設えとしました。 ・2系統からの受電としたうえで非常用発電機を設置していることに加え、発電機の燃料が枯渇した際には、太陽光発電の経路が災害対策本部が設置される庁議室の照明やコンセントの一部に切り替わる設計としております。 <p>【ユニバーサルデザインを導入した箇所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・執務室や待合エリア、サイン表示等、新庁舎の各所についてユニバーサルデザインを採用しております。 <p>【市民に開かれた庁舎とするために工夫した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2階に市民活動スペース(サークル広場)を整備し、市の事業以外にも、市民向けに貸し出しを行っております。 ・キッズスペースや売店を新たに整備し、市民が気軽に集うことができる庁舎を目指しております。
⑪市民活動スペースの活用状況を教えてください。	市民まつりやスポーツフェスティバル等の市が主催のイベント以外にも、地場産の野菜等を販売するマルシェや、ラジオ体操教室、子供向けイベント等でご利用いただいた他、ドラマ撮影の舞台としても使用された実績があります。
⑫休日利用部分があることで、どのようなセキュリティ対策を講じているのか教えてください。	ベルトパーティションや防火シャッターを活用した物理的な侵入防止対策のほか、監視カメラや機械警備、24時間常駐の警備員による巡回等により、セキュリティ対策を講じております。
⑬複合・集約化方針において保健センターをシビックセンターへ集約するところから、庁舎と合築することに至った経緯を教えてください。	<p>アセットマネジメントアクションプランにおいて、保健センターを庁舎周辺エリアへの集約化を検討することとしており、それを基にパブリックコメントや市民向け説明会、基本計画策定審議会、及び市議会特別委員会からのご意見を踏まえ、八潮市新庁舎複合・集約化方針のなかで、「集約」を「新庁舎に合築、あるいは同一敷地内に隣接し渡り廊下で連絡させる」とことと定義いたしました。</p> <p>これを踏まえて、基本設計における設計者からの提案を検討し、新庁舎へ合築することとしました。</p>
⑭ZEB認証による工事工程の遅れはありませんでしたか。	<p>ZEBの認証を取得することについては、設計業者からの提案事項でもあったことから、それ自体が工程に影響を及ぼすことはございませんでした。</p> <p>一方で、ZEB化に関する補助金取得については、工事発注前に補助金の交付決定を受ける必要性があったことや、年度ごとの補助対象工事可能期間に制約があったことから、工程に遅れが生じないように施工者との様々な調整が必要となり、大変苦慮いたしました。</p>
⑮本体工事と電気設備、機械設備を分離発注したことに意図がありますか。	<p>国が定めている「公共工事の入札及び契約の適正化を図るための措置に関する指針」において、「設備工事等に係る分離発注は、施工の責任や工事に係るコストの明確化が図られる等当該分離発注が合理的と認められる場合において、工事の性質又は種別、発注者の体制、全体の工事のコスト等を考慮し、専門工事業者の育成に資することでも踏まえつつ、その活用に努める」とされております。</p> <p>当市においては、新庁舎建設工事への参加が期待できる電気設備及び機械設備工事の市内業者が存することや、発注担当職員の育成にも資することから、設備工事の分離発注を採用いたしました。</p>

(質問事項)

質問	回答
⑬公共施設等適正管理推進事業債を活用されたかと思いますが、起債対象事業費の整理はどのようにされましたか。【基本的には庁舎等の公用部分は起債対象外になるかと思うので、対象事業費は保健センターの公共部分(事務スペースは除く)と、面積按分による共用部分という考えでよろしいでしょうか。】	保健センター部分については公共施設等適正管理推進事業債(集約化・複合化事業)を活用し、対象事業費の考え方はご見解のとおり、明確に分けられない部分は面積按分としております。
⑭⑬について、実施設計の費用に関しても起債されましたでしょうか。起債された場合、対象事業費をどのように計算されましたか。【庁舎部分(対象外)と保健センター(対象)の面積按分での計算でしょうか。】	実施設計についても、公共施設等適正管理推進事業債(集約化・複合化事業)を活用しており、面積按分で事業費を算定しております。
⑮公共施設等適正管理推進事業債を活用するにあたり、公共施設等総合管理計画や個別施設計画にどの程度記載をされましたか。【参考に計画の抜粋をいただけますと幸いです。】	個別施設計画(八潮市公共施設マネジメントアクションプラン及び八潮市庁舎建設基本計画)において、保健センターを新庁舎に集約化することを明記しました。(別紙資料参照)
⑯庁舎部分については基本的に一般事業(充当率75%、交付税措置なし)での起債かと思いますが、他に活用された起債メニューはありますか。	当市新庁舎については、令和2年度中に実施設計に着手したため、公共施設等適正管理推進事業債(市町村役場機能緊急保全事業__充当率90%、交付税措置あり)を、庁舎部分に活用しました。